

<b>提携先</b>	藤原食品(株)	<b>記入日</b>	2008/8/8
<b>登録消費材名</b>	天津甘栗		

**．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

国産ではほとんどない食材でなおかつ昔から日本国内で根付いている製品を消費材として提供して参りました。日本との食品に対する安全性の認識の違い等、年月をかけながら同一会社との相互信頼の中で双方が努力して参りました。近年の中国産品の食品不信に際し、より一層の理解を求めるためには、原料時点からのトレースが完全にとれ、中身が全て開示されることであるという信念から、原料生産地や農民の特定、副原料の非遺伝子組み換え、など積極的に開示を行って参りました。

**．前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

産地での取り組みの中で、殺虫燈の設置による虫の駆除についてはおおむね成果が上がりました。今後取り組みを広げていきます。  
 昨年までは農事暦等全てが公開された中で、契約原料を集荷した段階でのサンプル残留農薬検査を行い、残留がないことを確認して輸入することで検証を完了していました。  
 餃子事件のあと、結果として製品検査における残留性の検証を行うに当たって、原料をサンプルとして検査したのでは不十分であったとの課題が残りました。  
 栗の特性に合った時期の選び方が不十分であったことも課題です。  
 製造については課題が多くあります。衛生管理マニュアルや作業日報など形式になってしまっており、機能しませんでした。

**．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

本年度は輸入後各ロットの原料残留農薬検査を実施し、製品検査については必要に応じて実施していきます。  
 虫害を防ぐ農法（ニワトリ放し飼い農法）など、農薬の必要のない農法を実験的に取り入れていきます。  
 栗の特性を考え、季節前半と後半で産地分けを行い（素性管理は両産地とも同様）、年間での味覚の均一化を図る努力をしていきます。  
 工場内機械設備の更新は難しいものの、できる範囲での努力（衛生管理など）を行ってまいります。従業員数が圧倒的に少ない弊社の場合、消費材開発マニュアル中の衛生管理マニュアルのような作業チームは会社の人員全員で行わねばなりません。今までの形骸化したマニュアルからの脱出をはかるべく、弊社なりにかみ砕いた中で指針に沿った行動をとれるように努力し、少しでも生活クラブ全体の生産者の水準に近づけるような実態に即した衛生管理マニュアルの作成ができるよう努力いたして参ります。

<b>提携先</b>	藤原食品(株)	<b>記入日</b>	2008/9/11
<b>登録消費材名</b>	乾燥きくらげ		

**．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

連合会加工食品課様に打診をいただいて以来、「原料素性を確実に末端まで追えること」を主眼に置き消費材展開の可能性を模索して参りました。

消費材の供給数量を満たす現地会社は多くありますが、長年の信用があるところ、生活クラブの考え方を理解してもらえるところ、自社農園による栽培で栽培課程が全て明らかにできる環境にあるところ、乾燥を含め全ての加工工程を工場点検・圃場点検を含め開示してもらえるところを探していく中で、当該製造元にたどり着きました。

**．前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

2009年2月より供給させていただく消費材のため前年における成果や課題は の部分とダブルります。

**．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

実際の生産状況や組合員からの声をうけ、現状の立ち位置がどの辺かを明確にし、来年度に向けた努力目標を策定していこうと思います。

<b>提携先</b>	藤原食品(株)	<b>記入日</b>	2008/8/8
<b>登録消費材名</b>	天津むき甘栗		

**．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

国産ではほとんどない食材でなおかつ昔から日本国内で根付いている製品を消費材として提供して参りました。日本との食品に対する安全性の認識の違い等、年月をかけながら同一会社との相互信頼の中で双方が努力して参りました。近年の中国産品の食品不信に際し、より一層の理解を求めるためには、原料時点からのトレースが完全にとれ、中身が全て開示されることであるという信念から、原料生産地や農民の特定、生産工程の点検を行い、積極的に開示を行って参りました。

**．前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

揚家峪村原材料の契約による天津栗とのロット統一により、天津甘栗、天津むき甘栗の原料について、全く同一のスペックで安定供給できるようになったことが成果です。しかしながら、餃子事件以降 CIQ 輸出禁止措置の影響から、本来出荷できるはずの天津栗一時原材料が残ってしまい、本年度 10 月からの再開後、例年よりも長い期間供給を行わざるを得ないことが課題です。同工場で生産を始め 3 年になりますが、試行錯誤しながら製造基準を作成してきました。一昨年冬より、レトルト加工の際の内部温度の基準値を F 値に基づくものにするなどしたことにより、製品の均一化に成果が出ました。

**．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

工場に自主管理監査要項の浸透を図るべく、自主基準書の送付および、現地点検の際の確認を行ってきたが、さらに進んで、自主管理監査の考え方を従業員教育が可能なところまで高められるよう、工場の職員と連携をとれるよう努力したい。

<b>提携先</b>	藤原食品(株)	<b>記入日</b>	2008/8/8
<b>登録消費材名</b>	ザーサイ		

**．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

国産ではほとんどない食材でなおかつ昔から日本国内で根付いている製品を消費材として提供して参りました。日本との食品に対する安全性の認識の違い等、年月をかけながら同一会社との相互信頼の中で双方が努力して参りました。近年の中国産品の食品不信に際し、より一層の理解を求めるためには、原料時点からのトレースが完全にとれ、中身が全て開示されることであるという信念から、原料生産地や農民の特定、生産工程の点検を行い、積極的に開示を行って参りました。

**．前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

重慶フーリン楽味食品有限公司は、会社自体がザーサイ農家との契約を古くから実践していたものの、「顔と顔のつきあい」であって、帳票として定まったものがなく、2月の連合会との産地訪問を機にその帳票を整備できたことが成果です。  
一方原料塩の索性や、原料香辛料の残留農薬の検証など、できなかったことも多く、今後の課題として残してしまっている。

**．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

本年度産の原料塩については、塩業局の承認のもと、原料規格を重慶フーリン楽味食品有限公司側で要求した精製塩（添加物を全く含まない塩）を使用する、当局からの文書等帳票上でわかるようにしたい。  
四川大震災にて、つけ込み甕、塩池に被害が出たが、直ちに製品供給に影響を及ぼすほどのものではなかった。しかし原料関連では原料香辛料の産地が被害を受けているため、品質規格書上との齟齬が起らないよう十分な監視を行っていく。

提携先	藤原食品(株)	記入日	2008/8/8
登録消費材名	中国はるさめ		

**．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

国産ではほとんどない食材でなおかつ昔から日本国内で根付いている製品を消費材として提供して参りました。日本との食品に対する安全性の認識の違い等、年月をかけながら同一会社との相互信頼の中で双方が努力して参りました。近年の中国産品の食品不信に際し、より一層の理解を求めるためには、原料時点からのトレースが完全にとれ、中身が全て開示されることであるという信念から、原料生産地や農民の特定、生産工程の点検を行い、積極的に開示を行って参りました。

**．前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

昨年、連合会様と合同で産地点検を行い、原料生産地確認、工場点検にて、トレースや製造工程の再確認をいたしました。この後2008年1月期より、契約原料による消費材供給がスタートしました。

原料緑豆の確認検査の中で契約農家中1村のサンプルから微量のDDVPが検出されました。中国では一般的な家庭での防虫使用が原因なのですが、このことを教訓に、はるさめに限らず全消費材の生産農家に対し、家庭内使用であってもDDVPを使用しないよう啓蒙活動を行いました。

工場での包装のできばえや、雑なものについて、社員の入れ替わり等で一部発生し、これが異物混入(髪の毛)につながるケースが発生してしまいました。

**．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

本年度も、契約農家については前年度と同一(一村については本年度はお休み)で実施し、トレースの確保に努めています。残留農薬検査等については製品検査を年間2ロット実施するなど検証していきます。

製造工程中の作業員の製造についてのモチベーションアップのため、OJTを都度行うようにしておりますが、その中で自主管理監査の考え方を定着していけたらと思います。